

東京都教育委員会教育目標

本校の教育目標 目指す学校

- (1) 知性と感性に富み創造力豊かな人間を育てる
- (2) 明朗にしてたくましい心豊かな人間を育てる
- (3) 平和を愛し、国際社会に貢献できる人間を育てる



「国立に五商あり 人づくり夢づくりの商業高校」

知的な好奇心・探求心

五商ブランドの確立 「教育内容の充実と進路実績の向上」

「学習活動・特別活動の充実と資格取得の推進」 「心身の健康・体力の向上」



観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標と方策
学習指導	<p><b>【目標】</b> 学力向上、資格取得の推進</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① わかる授業から、生徒が自ら学ぼうとする授業への転換を図る。主体的・対話的で深い学びを目指し、これまでのICT教育機器の活用、プリントの工夫など、学習方法の工夫や教材開発を土台に、グループ、ペアワーク、発表など、学習形態の工夫、授業や授業以外の時間など様々な学ぶ機会を生徒自らつくり出すような自主的・主体的に生徒が学ぼうとする授業設計と授業の実践を行う。</li> <li>② 習熟度別授業・少人数制指導等の授業形態を工夫するとともに、次期学習指導要領に向けた主体的・対話的で深い学びによる指導と評価を研究開発して、教科主任を中心に組織的な授業改善・充実化を図り質の高い学習指導を実現する。</li> <li>③ タブレットパソコンなどICT機器を活用した授業を展開するとともに、IT化により学習履歴の蓄積を行う。</li> <li>④ 高度資格取得を通して、ビジネスに必要な資質・能力の向上を図り、世界の経済社会を支える中核人材の育成を図る。</li> <li>⑤ 外国語教育と国語教育、読書活動、言語活動の充実を図る。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 生徒と教員とによる授業の創造、資格取得の推進</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教務部と教科主任を中心に、IT化を推進し、主体的・対話的で深い学びの指導や評価について研究開発するとともに、本校の学力スタンダード、技能スタンダード等に基づき学習指導する。</li> <li>② 教室内の清掃、開始と終了時の挨拶の励行、机上や通路の整頓など、授業規律の徹底により、落ち着きと緊張感のある授業を進めることで、生徒の主体的に学ぼうとする態度を確立し授業効果を高める。</li> <li>③ 各教科・科目で、「学びの羅針盤」を活用する。</li> <li>④ 教科主任を中心に、生徒による授業評価や学校運営連絡協議会での授業評価協議会、授業公開、教員相互の授業公開、ICT機器活用研修会、指導教諭による模範授業や近隣他校の授業公開等、学校内外での研修成果を生かして、組織的に授業の内容と方法の改善・充実化を図り、学習指導の充実を目指す。</li> <li>⑤ 習熟度別授業、少人数制指導に基づき、授業の効果的な展開と活用を図る。</li> <li>⑥ 全教科で教科の特性や生徒の興味関心を捉え、意図的、計画的に外部講師等によるセミナーを開催するなどして、学ぶ意欲を高める。</li> <li>⑦ 資格の取得（学習指導）</li> <li>⑧ 資格取得を年間指導計画の重点事項に位置付け、該当教科が組織的、計画的な指導の強化に努める。</li> <li>⑨ ホームルーム活動やライフデザイン・社会体験学習など、教科指導を通じて、資格取得のガイダンスを強化し、生徒に資格取得の目標をもたせ、IT化により日常的に担任・生徒・保護者がその成果を確認できる体制を整え、次の励みとなるように工夫を図る。</li> <li>⑩ 教科指導の充実、日々の補習・講習の実施と拡充、関連する部活動の強化、個別の支援等を重ね、多彩な資格取得に取り組みせ、合格に導き、進路実現に生かす。</li> <li>⑪ 高大連携等や個別指導を推進し、生徒の力を一層引き出し、高度な資格取得に計画的、意欲的に取り組ませていく。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> カリキュラムマネジメントによる教育内容の充実</p> <p><b>【方策と数値目標】</b> 学力A70名超・Dゼロ、五商4冠100名超</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 商業教育コンソーシアムとの連携によりビジネス教育の充実を図る。</li> <li>② 教務部が教科主任会議を中心に、次のことを推進して、すべての教科において、主体的・対話的で深い学びの授業を実現するとともに、「学びの羅針盤」の活用と改訂につなげるなど、五商の教育内容の質の保証を図る。</li> <li>・国語力、語学力（英語、中国語、韓国語）を育成する授業</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育（国際理解教育）、主権者教育に関連させた授業</li> <li>・各学年のホームルーム教室に配備した新聞を活用した社会の出来事と関連させた授業</li> <li>・教養、ビジネス教育、進路学習、文章表現力を高める授業</li> <li>・図書館を活用した授業や、書評対戦等の読書活動の推進につながる授業</li> <li>・ビジネス教育を取り入れた校外学習や修学旅行と、事前・事後学習など、学校行事と関連させた授業</li> <li>・グループ学習や、個人研究による課題解決型学習（PBL）を推進する授業</li> <li>・タブレットパソコンなど、ICT機器を活用した授業</li> <li>・小・中学校の学習内容を踏まえた発達段階に応じた授業と、教科横断的な授業</li> <li>・授業の学習到達度を測る各学年の全教科・科目の統一考査なお、学力スタンダードを踏まえ、全ての学年の年度末考査は、年間を通じた学習内容の範囲から出題する。</li> <li>・情報処理技術者試験や日商簿記検定試験等の高度資格指導力向上のための校内研修と研修図書の活用を生かした授業</li> <li>③ 学力の定着度、向上度を4・9・2月の外部模試で結果分析し、生徒による授業評価結果「今後の授業の工夫とアドバイス」とともに、生徒や保護者にフィードバックし、着実に定着を図っていく。</li> <li>④ ノーチャイム制により生徒の自主性、主体性をはぐくむ。</li> <li>⑤ 学習課題などを工夫し、学習習慣や家庭学習を推進する。</li> <li>⑥ 各学年の教務担当を加えた拡大教務部会を実施し、IT化と学習指導の充実化を図る。</li> </ol>
進路・生活・健康づくり	<p><b>【目標】</b> 進路実績・生活・心身の健康・体力の向上</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 全教育活動を通して総合的な人格形成、人づくりを行って、生徒の進路希望を高いレベルで実現させる。大学進学希望者の進路希望を高いレベルで実現させる。</li> <li>② ライフデザイン・社会体験学習（教科「人間と社会」）、インターンシップ、ジョブシャドウ等の体験学習を通して、奉仕や道徳、勤労観・職業観の精神を涵養するとともに、意図的、計画的、系統的なキャリア教育を進める。</li> <li>③ 都の生活指導指針のもと、規範意識の向上、基本的な生活習慣、学習習慣の確立、マナー教育の充実を図る。</li> <li>④ スクールカウンセラーと連携を図るとともに、生徒の生命や安全についての校内体制を構築して、本校の教育相談機能の更なる向上を図る。</li> <li>⑤ 生徒の心身の健康・体力の向上を図り強い心をはぐくむ。</li> <li>⑥ よりよい校内環境の創造のため、校内体制を整備する。</li> <li>⑦ IT化により新大入学試験制度に的確に対応する。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 進路実績・生活・心身の健康・体力の向上</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生徒一人一人が望ましい生活習慣や学習習慣を身に付け、他者との円滑なコミュニケーションを図ることができる能力を高める。</li> <li>② 進路指導部が中心となり、各組織と連携し、キャリア教育の全体計画に基づく3年間を見通した進路学習の改善と充実を図り、卒業後のフォローアップ指導も含めた本校の進路指導を確立するとともに、進学先や就職先の拡大に努める。</li> <li>③ 生活指導部が中心となり、各学年や生徒会等と連携協力して、朝の挨拶・遅刻防止、交通安全、制服の着こなし、学校施設の適切な使用等の徹底を図る。</li> <li>④ 保健相談部は各学年、スクールカウンセラー等と連携協力して、美化や保健、心身の健康について、生徒の委員会による取組を推進し、よりよい環境づくりに主体的に関わり合うよう生徒の育成を図る。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 進路実績・生活・心身の健康・体力の向上</p> <p><b>【方策と数値目標】</b> 大学50名超・就職100%、体力10%増</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校全体で文章表現力や小論文指導を推進するとともに、校内研修を実施して指導体制を構築する。</li> <li>② 各学年の進路指導担当を加えた拡大進路指導部会や進路情報交換会を実施し、IT化と進路指導の充実化を図る。</li> <li>③ 生活指導の重点を「明朗」「たくましさ」「豊かな心」「平和を愛する」「国際社会への貢献」とする。</li> <li>④ 五商祭を更に学びのある取組に充実化を図る。</li> <li>⑤ 各学年の生活指導担当を加えた拡大生活指導部会を実施し、IT化と生活指導の充実化を図る。</li> <li>⑥ 保健相談部や家庭科、保健体育科が中心に、食育や心身の健康、体力の向上等に関する全体計画を作成し、組織的な指導体制を構築し取り組むとともに、生徒の委員会活動を活性化させる。</li> <li>⑦ 保健体育科が中心に、体力テスト等を活用し、生徒の体力の総合的な向上を図る。</li> </ol>
特別活動等	<p><b>【目標】</b> 特別活動等の充実化</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 芸術鑑賞、日本の伝統・文化、スポーツ、国際交流、国際理解教育を推進する。</li> <li>② 学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等を生徒主体で活性化するとともに、生徒会役員等のリーダーの育成を図る。また、体罰やいじめを根絶する。</li> <li>③ 小・中学校や大学、地域との交流や連携を一層推進する。</li> <li>④ IT化により生徒の学習履歴を蓄積する。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 学校行事や生徒会活動によるリーダー養成</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校行事やホームルーム活動、生徒会活動について、生徒が主体的に関わるよう工夫を図り、リーダーを養成する。</li> <li>② 全学年において生徒の特性に応じた部活動への加入を奨励し、各種競技会への参加と上位入賞を目指す。</li> <li>③ 外部指導者との連携を強化し指導体制を構築する。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 学年経営力、学級経営力の強化</p> <p><b>【方策と数値目標】</b> 五商祭来校2,000名超、文化的取組10%増</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校行事やホームルーム活動に当たり、生徒の積極性・主体性、協調性・計画性、知恵と創意工夫等を高める指導・援助を学年担任や行事担当者で協力して行い、学びのある学校行事とするとともに、リーダーを養成する。</li> <li>② 選挙公約の実現や、生徒の自治活動の推進など、生徒会役員、各委員会、部活動部長が主体となる特別活動を推進してリーダーを育成する。</li> </ol>
家庭・地域との連携協力・交流活動、学校広報活動	<p><b>【目標】</b> 地域や家庭との連携強化、目的意識や学力の高い生徒の入学</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 保護者会や三者面談等の他、IT化により家庭との連携を図り、学習、進路、生活等についての情報を共有し、共に解決に向けて努力を続けていく。</li> <li>② 授業や特別活動、防災教育等により、地域貢献を果たし、生徒の自己有用感・達成感を高め、社会の一員としての自覚をはぐくむ。</li> <li>③ 積極的な情報発信に努め、本校の果たす役割と意義について地域社会への浸透を図る。</li> <li>④ 中学生や保護者のビジネス教育に対するニーズを把握し、学校広報活動を充実させる。</li> <li>⑤ 生徒商業教育研究発表会、課題研究等の学習成果発表会、部活動成果発表会、インターンシップ、ジョブシャドウ等の成果発表会等の開催により、在校生への普及・啓発を行うとともに、本校の教育内容についての都民の理解を深める。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 地域や家庭との連携強化、目的意識や学力の高い生徒の入学</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「五商ショップ」の運営、地域ボランティア等への参画、ビジネスデザイン、インターンシップ等による地域との連携、美化活動を通じた地域貢献、部活動における地域連携協力の充実を図る。</li> <li>② 各学年担任による日常の連絡やホームページの充実、IT化やメール配信、保護者会、三者面談の開催等により、家庭と学校との情報交換の適時化、緊密化を図る。</li> <li>③ 公開講座を実施し、本校の特色ある教育活動を地域に発信していく。</li> <li>④ ホームページの適時更新を実施し、生徒の活躍など、五商の取組を積極的に発信して学校広報活動を推進する。</li> <li>⑤ 学校案内やチラシを工夫するなどして、五商の学校広報活動の充実化を図る。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 地域や家庭との連携強化、目的意識や学力の高い生徒の入学</p> <p><b>【方策と数値目標】</b> 応募倍率 推薦3.50・一般1.20超</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学年主任が中心となって共通理解と合意形成を図って、計画的に学年経営や学級経営を行う。</li> <li>② 本校生徒への地域のボランティアの依頼などにはできる限り応える。</li> <li>③ 学校広報活動は、学校全体で取り組み分担するなどして、更なる強化を図る。意欲や目的意識の高い本校を第一志望とする生徒を多数迎えるために、教務部と学校広報委員会が中心に、中学校での学校説明会や出張授業、授業公開週間、本校での学校見学会、学校説明会、体験授業、部活動を通じて交流、生徒会や部活動の生徒の運営面でのかかわり、学校外での合同説明会など、学校全体で組織的に推進する。また、本校の生徒の姿に中学生や保護者が直接触れる機会を増やしていく。</li> <li>④ 新入生等アンケートで現状把握し、学校経営に生かす。</li> </ol>
学校経営・組織体制	<p><b>【目標】</b> 学校経営の適正化</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① IT化により学校全体で校務の効率化や、充実化を図る。</li> <li>② 2020年秋の創立80周年記念式典の確実な準備を行う。</li> <li>③ PDCAサイクルを定着させ、学校経営の適正化のため、組織の改善・充実化に努める。</li> <li>④ 自律経営推進予算を効果的に活用し、教育効果を最大限に上げる。</li> <li>⑤ 教職員の有する教育力を最大限に発揮できるよう、働き方改革、ライフ・ワーク・バランスを推進して、校内環境の整備と健康管理に努める。</li> <li>⑥ 生徒の安全管理、防災対策の充実化を図る。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 経営参画の推進</p> <p><b>【方策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学校経営への参画を促し、学校課題の解決を推進する。また、創立80周年記念式典の確実な準備を行う。</li> <li>② 各教科や校務分掌の中間まとめ・年間総括に基づいた課題解決と、自律経営推進予算の効果的な編成実施管理に取り組む。</li> <li>③ ITチームやITリーダーを中心に、組織的にIT化を進める。</li> <li>④ 働き方改革、ライフ・ワーク・バランスを推進する。</li> <li>⑤ 教務部や司書教諭、図書館運営委員会を中心に、利用しやすい図書館運営、図書委員による読書活動の推進など、教養と社会人としての感性をはぐくむ教育環境を整える。</li> </ol>	<p><b>【目標】</b> 「一丸と徹底」</p> <p><b>【方策と数値目標】</b> 超勤50%削減、事故ゼロ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 日常的なOJTや教員相互の授業参観を推進するなどして、校内研修を意図的、計画的に推進する。</li> <li>② 学校が保有する個人情報については、「取り扱い基準」に照らして、適正に管理していく。</li> <li>③ 学校全体で確実な入選を行う。平成31年度入選については、6月までに必要な検討を行う。</li> <li>④ 超勤勤務の実態を把握するとともに、校内環境の整備と教職員の健康管理に努める。</li> <li>⑤ 図書館蔵書の更なる充実化を図る。</li> <li>⑥ 安全対策に係る緊急時対応マニュアルを再整備する。</li> </ol>

\* 本校の学校経営や、生徒に役立つ方策等については、年度途中でも推進する。

\* 表中の丸数字は順序性や関連性を表していない。